



【かめた くるみ さん】 東千歳中3年
●東千歳中に入学と同時に文化部に入部し、そこから本格的に絵画を描き始める。平成25年度に、市が表彰する市民文化奨励賞「芸術（美術）」を受賞した。

これからも、大好きな絵画を描き続けます。



「植樹する兄弟」

今

月の「広報ちとせ」の表紙を見て、驚いた方もいるのではないのでしょうか？

表紙の馬は、東千歳中の文化部に所属する亀田さんが描いた絵画です。

「馬の絵は、長沼のマオイの丘で撮影した馬の写真を見ながら描きました。毛並みを描くのがとても難しく、なかなか、馬らしく描けませんでした。うまく描けないときは、描くのが嫌になることもありましたが、そんなときは、馬を描くのをやめて、背景を描いて、気分転換していました。コンクールへの出展期限があったので、休んではいられませんでした」と、完成までを振り返ります。

亀田さんは、昨年、1年間で7点もの絵画を描き上げ、数多くの賞を受賞

しています。

その一つが「平成25年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」で応募した絵画「植樹する兄弟」（右下）です。全国の中学生26,090人の中から1点だけに贈られる「農林水産大臣賞」を受賞しました。「この絵画は、通常と違う見方をして描くというテーマがあったので、兄弟が植樹する姿を、穴の中から見上げている様子を描きました。昨年5月に鳥取県で開催されたコンクールの受賞式で、天皇陛下から、「構図が独創的で、素敵な絵ですね」と、褒めていただきました」と嬉しそうに話します。

「小学生のときから、図工の授業が好きで、中でも絵を描くことが大好

きでした。作品が完成したときの達成感が好きです」と、あどけない笑顔を見せます。

顧問の竹津先生は、「描くのが嫌になることもたくさんあったと思いますが、それでも、一つひとつ作品を完成させていきます。これは、ものすごい集中力です。絵画を描くということを通じて、困難に立ち向う強い気持ちがある、身につけていると思います」と亀田さんを評価します。

「高校に進学しても絵画を描き続けたい」と語る亀田さん。

「英語は、あまり得意ではありませんが、ヨーロッパに行つて、建築物や景色など、いろいろなものを見てみたいです」と、最後までキラキラ輝く笑顔で、これからの目標を語ってくれました。

人 の い る 風 景

SCENERY OF PEOPLE



亀田

KAMEDA
KURUMI

くるみ さん